

● 世界の主な火山活動

平成 24 年（2012 年）11 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

トルバチック（ロシア）（図中 A）

7～10 日、18 日、26 日に火山性微動が発生した。火山体浅部を震源とする火山性地震も増加し、26 日には 250 回発生した。27 日に、1975 年に発生した噴火と同じ場所から噴火活動が始まった。衛星画像で噴煙を確認することはできなかったが、地震計の記録から噴煙は海拔約 10 km に達した可能性がある。噴火により、北北西へ 60 km 離れた地域での降灰は厚さ 4 cm に達した。また、二つの割れ目火口が形成され、溶岩流も発生した。28 日、29 日の噴煙の高さは 500m 以下で、東南東方向へ約 300 km 流れた。衛星画像からは広範囲にわたって熱異常領域が観測された。その後、地震活動は低下したが、噴火活動は継続し、30 日には溶岩流が 10 km 離れた地域にまで達した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

